

景気、崖っぷちに向う動き示す 製造業と商業は悪化の一途

DOR129号（2019年4～6月期景況調査）速報 （2019年7月10日発行）

※ DOR（ドール）とはDOyukai Research の頭文字をとったもので
中小企業家同友会全国協議会(<http://www.doyu.jp>)

業況判断・水準・売上高・経常利益がすべて水面下に沈む

業況判断DI（「好転」－「悪化」割合）は3→Δ2、売上高DI（「増加」－「減少」割合）は5→0、経常利益DI（「増加」－「減少」割合）はΔ1→Δ5、足元の景況を示す業況水準DI（「良い」－「悪い」割合）は4→Δ3と、ほぼすべてがマイナス圏入りした。前回、製造業の業況判断DIがΔ4と大きく屈折したが、今回は製造業と流通・商業がΔ7まで沈み込んだ。景気は崖っぷちに向うような動きを示している。世界経済は、米中貿易戦争や中国経済の減速、日米貿易協議など「いつ決着するのか解らない問題が世界で多すぎる」との声も聞こえてくる。

業況判断DIを業種別に見ると、建設業が11→2、製造業がΔ4→Δ7、流通・商業がΔ1→Δ7、サービス業が13→10と、製造業と流通・商業が悪化し、サービス業が堅調な業況だ。地域経済圏別では、北海道・東北が1→1、関東が7→Δ7、北陸・中部が0→Δ5、近畿が0→Δ3、中国・四国が4→12、九州・沖縄が5→Δ9と、中国・四国のみが上昇した。企業規模別では、20人未満でΔ1→Δ1、20人以上50人未満で9→Δ3、50人以上100人未満でΔ4→Δ14、100人以上以外すべてがマイナス圏になった。

次期（2019年7～9月期）以降は、業況判断DIがΔ2→Δ2、売上高DIが0→1、経常利益DIがΔ5→Δ3、業況水準DIがΔ3→Δ2と、「横ばい」で持ち直すと予想した。次期の業種別の業況判断DIでは、建設業が2→3、製造業がΔ7→Δ12、流通・商業がΔ7→Δ4、サービス業が10→10と、製造業がさらに落ち込む予想。特に、次々期の見通しでは流通・商業がΔ15と消費増税に強く反応したと見られる。

正規従業員数DI、臨時・パート・アルバイト数DI、所定外労働時間DIなど減少

採算面では、仕入単価DI（「上昇」－「下降」割合）が43→43と、特に製造業が56→50と下降したが高止まりした。売上・客単価DI（「上昇」－「下降」割合）も14→15と上昇し、仕入単価DI－売上・客単価DIの差は29→28となり、ほぼ横ばいである。金融面では長短の借入難度DI（「困難」－「容易」割合）の安易化傾向は変わらないが、資金繰りDI（「余裕有り」－「窮屈」割合）がプラス側（余裕有り）を維持しているものの、数字が小さくなっている（16→8）。

雇用面では、正規従業員数DI（「増加」－「減少」割合）は8→5と減少。臨時・パート・アルバイト数DIは3→1と減少した。所定外労働時間DI（「増加」－「減少」割合）はΔ7→Δ15と減少。また、人手の過不足感DI（「過剰」－「不足」割合）はΔ51→Δ43と弱まった。設備投資では設備の過不足感DI（「過剰」－「不足」割合）もΔ19→Δ16と若干弱まった。

経営上の問題点では「従業員の不足」が43%→38%と、8期連続で1位となったが、今期は減少済み。また、「人件費の増加」が34%→35%と2位について。久々に、「民間需要の停滞」が顕著な上昇をみせる。特に製造業では、「民間需要の停滞」が28%→35%に上がった。

経営上の力点では、「新規受注（顧客）の確保」（53%）と「付加価値の増大」（50%）が双璧。会員からは、「労基法改正で物量で稼げなくなることがわかっている以上、自社の商品、サービスにいかにか付加価値を認めて頂けるようにしていくか、その努力を続けられない限り会社が存続できない（愛知、電設工事業）」など付加価値がある会社をめざす記述が目立った。

DORの製造業と商業が悪化、景気の正念場に

日銀短観は「大企業・製造業」がプラス7と5ポイント悪化。景況感が2期連続悪化した。「中小企業・製造業」もΔ1と7ポイント悪化。DORでも、20業種別業況判断DIで金属製品製造業はΔ15→Δ18、機械器具製造業は1→Δ23と製造業が大きく後退している。受注残も製造業でΔ14→Δ20となり、同様の傾向である。製造業と商業を中心として、景気が正念場に入っているのは間違いなく、国内経済は楽観できない状況が続いている。

* 本文中断りのない限り、業況水準以外は前年同期比 * 詳細は2019年7月31日発行のDOR129号をご覧ください

【調査要領】

調査時	2019年6月1～15日	
対象企業	中小企業家同友会会員	
調査の方法	郵送により自計記入を求めた	
回答企業数	2,380社より942社の回答をえた（回答率39.6%） （建設169社、製造業288社、流通・商業284社、サービス業192社）	
平均従業員数	役員を含む正規従業員39.92人	臨時・パート・アルバイトの数23.76人

景気、崖っぷち向う動き示す 製造業と商業は悪化の一途

主要指標

業況判断(前年同期比)		15 I		II		III		IV		16 I		II		III		IV		17 I		II		III		IV		18 I		II		III		IV		19 I		II				
全業種DI		-7.2	2.4	4.1	5.7	-3.4	-5.2	-4.7	1.5	2.8	5.0	10.4	13.5	3.0	4.2	5.5	6.9	2.7	-1.7																					
好転		25.8	30.9	30.3	31.1	26.8	23.9	24.4	28.3	27.9	28.8	31.9	32.8	27.4	28.0	29.8	29.0	27.8	26.3																					
横ばい		41.1	40.5	43.5	43.5	42.9	47.1	46.5	44.9	47.1	47.4	46.6	47.9	48.2	48.2	46.0	48.9	47.1	45.6																					
悪化		33.1	28.6	26.2	25.4	30.3	29.1	29.1	26.8	25.1	23.8	21.5	19.3	24.4	23.8	24.3	22.1	25.1	28.1																					
建設業		-8.5	-10.9	-1.1	8.1	-15.9	-6.4	-11.5	-0.6	5.6	-5.1	4.1	13.4	-1.2	4.6	8.8	2.6	10.7	2.4																					
好転		27.5	23.9	26.6	30.2	19.9	23.1	19.7	26.2	28.0	21.4	27.9	28.7	24.4	28.2	30.6	27.5	32.0	25.9																					
横ばい		36.5	41.3	45.8	47.7	44.3	47.4	49.2	47.0	49.7	52.3	48.3	56.1	50.0	48.3	47.7	47.7	46.7	50.6																					
悪化		36.0	34.8	27.7	22.1	35.8	29.5	31.2	26.8	22.4	26.4	23.8	15.3	25.6	23.6	21.8	24.8	21.3	23.5																					
製造業		-6.3	0.0	1.8	-0.6	-1.0	-13.5	-11.5	0.0	-0.4	3.7	13.6	15.1	4.2	7.8	5.6	8.4	-4.4	-7.4																					
好転		27.4	30.5	32.3	32.4	29.1	19.0	23.6	29.3	28.7	31.3	36.0	35.4	30.2	31.4	33.0	33.8	29.0	26.4																					
横ばい		38.9	38.9	37.2	34.6	40.9	48.6	41.2	41.4	42.2	41.1	41.6	44.3	43.8	45.0	39.6	40.8	37.5	39.8																					
悪化		33.7	30.5	30.5	33.0	30.1	32.4	35.2	29.3	29.1	27.6	22.4	20.3	26.0	23.6	27.4	25.4	33.5	33.8																					
流通・商業		-11.6	9.0	5.0	4.8	-6.8	-4.3	-2.8	-3.2	-6.0	5.3	8.0	7.8	2.3	3.0	1.0	5.5	-0.8	-6.8																					
好転		21.5	34.6	28.1	27.5	24.1	25.2	23.9	24.5	22.7	26.9	29.8	31.0	26.9	27.8	27.7	24.5	23.6	22.6																					
横ばい		45.4	39.7	48.8	49.8	45.1	45.4	49.3	47.9	48.7	51.6	48.3	45.8	48.5	47.4	45.7	56.4	52.1	48.0																					
悪化		33.1	25.6	23.1	22.7	30.9	29.4	26.8	27.6	28.6	21.6	21.9	23.2	24.6	24.8	26.6	19.1	24.3	29.4																					
サービス業		-2.9	10.5	10.8	18.3	10.5	8.8	11.0	14.0	18.8	14.7	14.4	20.2	5.7	0.5	10.5	12.1	12.9	9.5																					
好転		27.1	33.3	33.9	37.8	34.9	30.8	30.9	34.1	35.0	34.2	32.3	35.1	25.7	23.7	28.2	30.1	28.8	31.8																					
横ばい		42.9	43.8	43.1	42.7	40.7	47.3	49.2	45.8	48.9	46.2	49.7	50.0	54.3	53.2	54.1	51.8	55.2	46.0																					
悪化		30.0	22.9	23.1	19.5	24.4	22.0	19.9	20.1	16.1	19.6	18.0	14.9	20.0	23.2	17.7	18.1	16.0	22.2																					

各種調査 業況水準		15 I		II		III		IV		16 I		II		III		IV		17 I		II		III		IV		18 I		II		III		IV		19 I		II				
DOR全国		-6	-2	2	9	-2	-6	-4	5	0	1	9	18	10	5	8	12	4	-3																					
短観(全規模)		7	7	8	9	7	4	5	7	10	12	15	16	17	16	15	16	12	10																					
短観(大企業)		16	19	19	18	13	12	12	14	16	20	23	26	23	22	21	21	17	15																					
短観(中堅企業)		10	10	12	14	12	9	10	12	15	16	18	19	20	20	17	17	13	13																					
短観(中小企業)		2	2	3	3	1	-1	0	2	5	7	9	11	11	11	12	12	10	6																					
中小企業庁		-30	-25	-25	-23	-29	-27	-27	-27	-29	-22	-22	-20	-25	-20	-22	-20	-25	-20																					

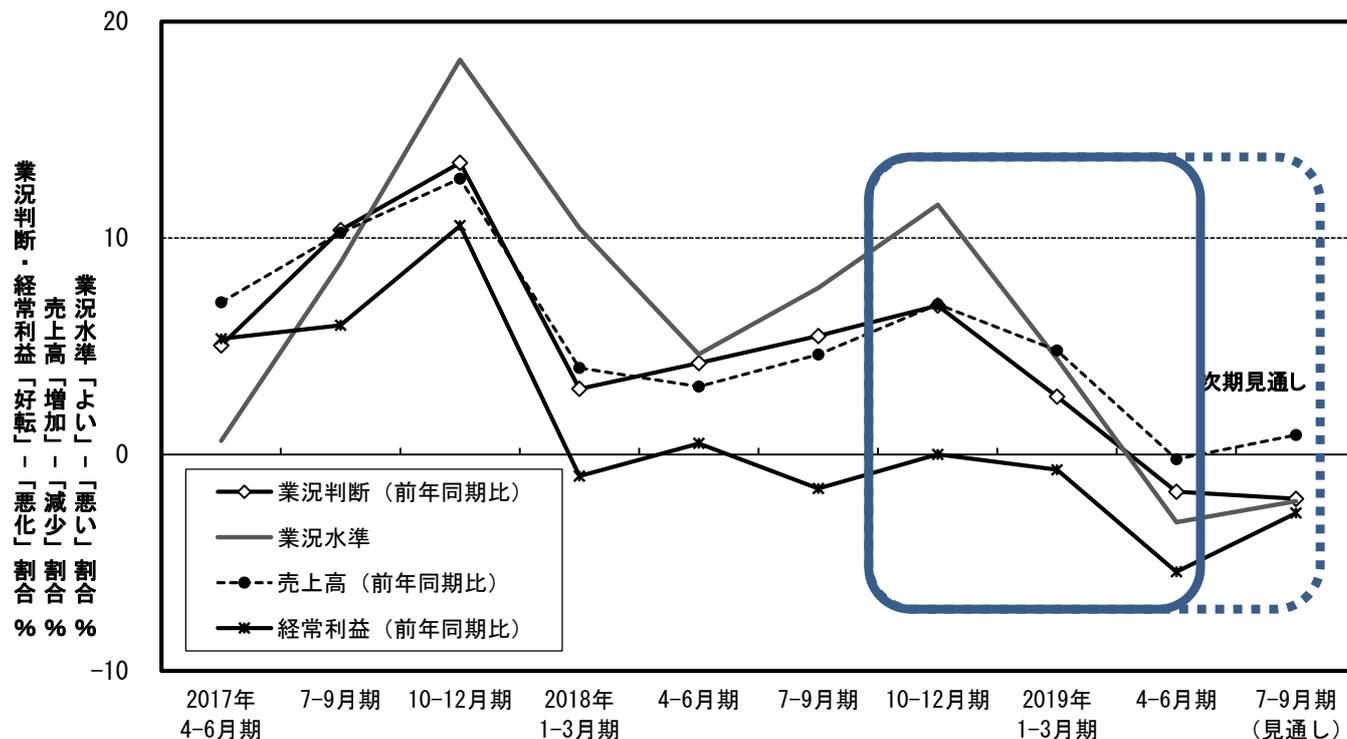
業況水準 良いマイナス悪い割合%		II		III		IV		16 I		II		III		IV		17 I		II		III		IV		18 I		II		III		IV		19 I		II		III			
DI表																																							
全業種		-2.1	2.3	8.7	-2.4	-6.1	-3.9	4.9	0.2	0.6	8.9	18.2	10.5	4.6	7.7	11.5	4.4	-3.1	-2.2																				
建設業		-2.2	15.2	19.1	-1.7	-1.7	-3.3	10.1	14.9	-9.0	5.3	28.7	18.9	13.2	5.9	24.0	23.2	13.3	13.9																				
製造業		-7.0	-10.4	2.5	-5.9	-16.8	-12.4	4.2	-13.6	-5.1	10.4	19.3	10.7	2.8	8.9	13.0	-6.6	-9.5	-13.1																				
流通・商業		2.6	2.3	4.1	-8.5	-8.5	-3.2	-2.4	-5.9	-0.4	-0.7	12.7	6.3	2.3	2.4	0.0	-1.1	-12.9	-10.4																				
サービス業		0.5	9.1	16.5	11.0	8.8	8.3	14.6	17.8	17.9	23.6	16.5	8.1	3.2	16.5	18.2	14.6	6.4	11.1																				

売上高(前年同期比) 増加マイナス減少割合%		II		III		IV		16 I		II		III		IV		17 I		II		III		IV		18 I		II		III		IV		19 I		II		III			
DI表																																							
全業種		2.4	7.2	3.2	-0.7	-3.4	-6.3	3.6	4.6	7.0	10.3	12.7	4.0	3.1	4.6	6.9	4.8	-0.2	0.9																				
建設業		-9.3	-1.1	3.4	-11.8	-10.4	-19.2	-5.9	5.0	-9.6	2.3	5.2	-7.2	1.8	-0.6	0.7	8.8	6.6	8.6																				
製造業		-0.8	1.8	-6.9	-4.3	-14.8	-13.3	3.3	0.7	4.0	12.9	16.5	8.3	4.4	4.6	9.2	-1.9	-7.5	-4.4																				
流通・商業		6.0	11.9	5.9	0.0	3.2	-2.5	-1.4	-1.5	9.9	8.0	12.5	2.6	2.0	1.7	4.0	3.4	-2.5	-3.3																				
サービス業		14.7	16.2	17.6	14.5	11.5	11.9	20.4	20.0	22.0	15.6	14.1	8.1	5.2	13.3	15.0	14.2	7.4	7.7																				

経常利益(前年同期比) 増加マイナス現象割合%		II		III		IV		16 I		II		III		IV		17 I		II		III		IV		18 I		II		III		IV		19 I		II		III			
DI表																																							
全業種		-0.3	3.8	5.6	0.6	-3.4	-2.5	1.6	0.9	5.3	6.0	10.6	-1.0	0.5	-1.6	0.0	-0.7	-5.4	-2.7																				
建設業		-8.2	-4.1	1.2	-10.7	-8.5	-9.9	-4.9	-1.3	-9.6	-0.6	14.9	-11.1	2.3	-0.6	-2.0	-1.4	-0.6	2.0																				
製造業		0.0	1.0	1.3	0.0	-11.4	-3.8	4.7	-2.5	3.1	9.2	10.3																											

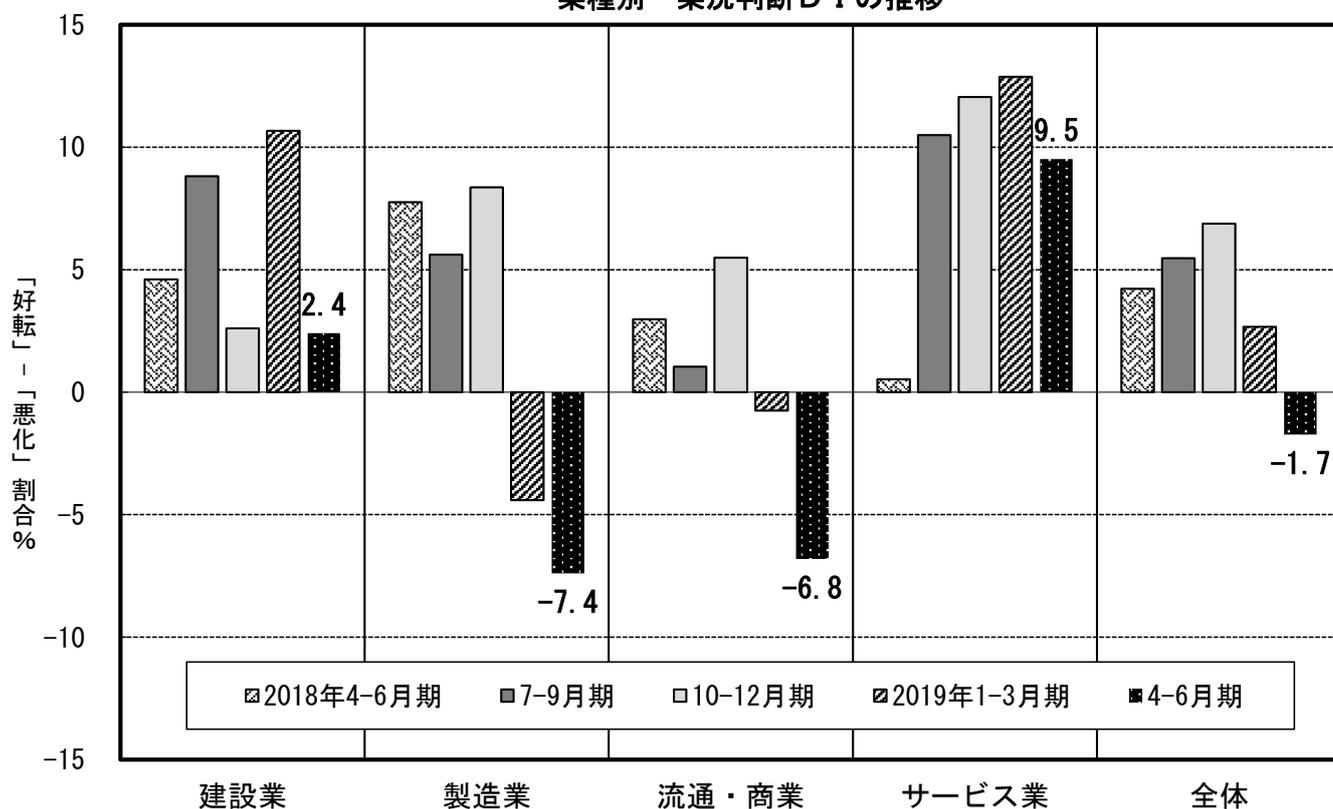
全主要指標2期連続で悪化

業況判断DI、売上高DI、経常利益DI、業況水準DIの推移



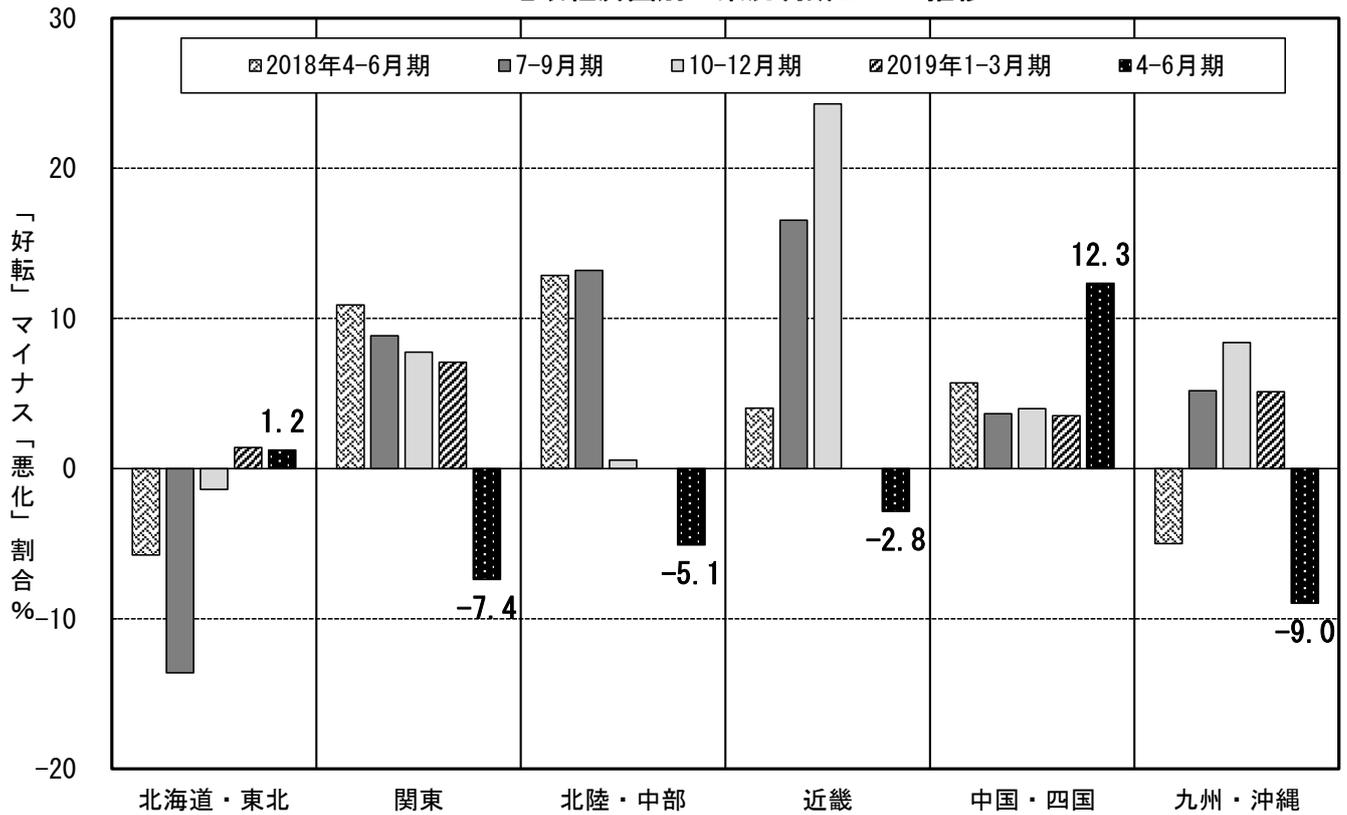
業況判断DI 全業種で悪化

業種別 業況判断DIの推移



業況判断DI、地域別では中国・四国以外で悪化

地域経済圏別 業況判断DIの推移



経営上の問題点 ～全業種で「民間需要の停滞」が上昇 雇用に関する問題意識は継続する一方で需要停滞の警戒感増す

